

追いつめられている  
子どもがいます  
居場所がない  
子どもがいます

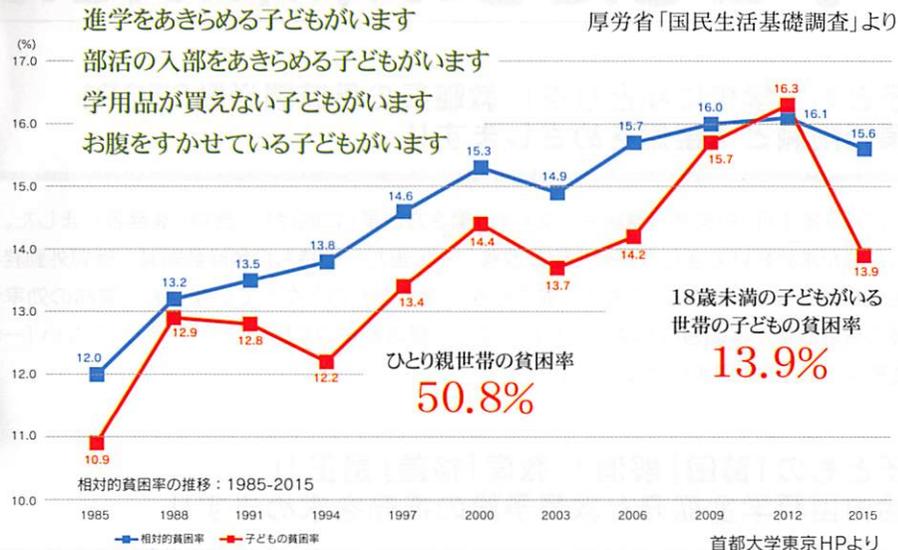
何もかも  
自己責任や  
個人の選択の  
問題にしては  
ならない!

過去最多

いじめ認知件数  
54.4万件  
不登校  
21.7万人

文部科学省 2019年10月(2018年度調査)

7人に1人の子どもが「貧困」!



この背景は…

現在、学校では

点数学力至上主義による競争  
過密な教育課程  
全国体力・運動能力調査に向けて体力作り  
特定の価値観の押しつけ 同調圧力

生まれつきの髪の色を  
黒に染めろって…

勉強や運動が  
苦手な自分はだめだ

息苦しく、生きづらい学校

権利を主張  
することは  
わがままなの?

勉強が  
楽しくない…

休んだり  
遊んだりする  
時間がほしい

国連からは指摘を受けています  
(国連子どもの権利委員会総括所見)

「高度に競争的な学校環境は、就学年齢にある児童の間で、いじめ、校内暴力、精神障害、不登校、中途退学、自殺を助長している可能性があることを懸念する」(2010年)

「過度に競争的な制度を含むストレスの多い学校環境において児童のストレス緩和を目的とした措置を強化すること」(2019年)

このような学校で教職員の実態は…

月80時間  
以上の残業

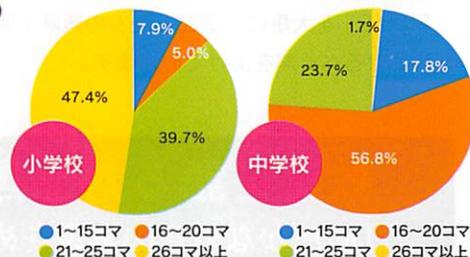
(2016 連合総研調べ)

小学校70%、中学校85%

教員は心身が疲弊し、自己研鑽のための時間もない。過労死が相次ぎ、  
精神疾患患者(毎年5千人)

- 北海道教員採用試験の倍率が激減(2018年)  
小学校 1.2倍、中学校 2.5倍
- 北海道における教員の欠員不補充  
94人 (2018年12月)
- 空き時間がほとんどない。
- 小学校では膀胱炎が職業病!?

学校は  
ブラック企業?



この状況で子どもたちに  
良い教育ができるでしょうか

小中学校教員の1週間持ち授業数

文科省「教員実態調査」(2016実施)

# 子どもたちの未来のために5つのとりくみをすすめよう

## 子どもと学校にゆとりを！ 教職員の長時間労働STOP！ 業務削減と法整備をめざします！！

1

2019年1月、中央教育審議会が文科省「働き方改革」に向けた「答申」を発表しました。しかし、私たちが求め続けてきた教職員の定数改善、一人当たりの持ち授業時数削減、時間外勤務手当不支給の根拠となる「給特法」の廃止・見直しをすすめるものとなっていません。業務の効率化や教職員の意識改革では問題は解決しません。また、超過勤務の常態化につながりかねない「一年単位の変形労働時間制」導入には反対です！

## 子どもの「貧困」解消！ 教育「格差」是正！！ 給付型奨学金拡充と教育予算の拡充を求めます！！

2

2006年に道教委が「新しい高校」指針を策定して以降、道内公立校は51校減少し、高校のない市町村は50まで増加しました（2020年度末募集停止予定校も含む）。通学のための交通費、下宿代などの負担が大きく、希望の進学先をあきらめざるを得ない子どもが多くいます。

給付型奨学金制度や教育予算の大幅拡充など、国・道の責任で「貧困と格差」を解消するよう要求していきます。

## 「学力調査」結果公表、「点数学力」策に反対！ 生きる力につながる真の「学び」を！！

3

全国学テの平均点で子どもたちは他県と競争させられています。点数アップのために「チャレンジテスト」（対策プリント）や宿題に追われ、「点数学力」優先の学習をさせられています。

「なぜ？」を大事に、子どもたちの興味・関心を高め、生きる力につながるゆたかな「学び」へと転換させるべく声をあげていきます。

## 平和憲法を守る！

「日の丸・君が代」強制、「愛国心」「規範意識」の押しつけ反対！  
「特別の教科 道徳」では、子どもたちの「主体的判断」と  
「多様性」を大切にします！！

4

2018年度から「特別の教科 道徳」がスタートしたことにより、「人の心」が評価されることになりました。教科書は、多様な価値観を受け入れる作りにはなっておらず、国が求める「徳目」を押しつけるものとなっています。

「日の丸・君が代」に対しても、過去の戦争でシンボルとなった歴史などを顧みることなく、大きな声で歌うよう指導することが求められ、国家のための「愛国心」が強要されています。現政権のもと、「憲法9条」が「改悪」されると、先の大戦の時のように「国家のために」子どもたちを戦争へ送り出すことになりかねません。

私たちは、①子どもの本当の思いを拾い上げ「主体的判断」と「多様性」を大切に道徳の授業をめざす、②「日の丸・君が代」強制に反対するとともに子どもを主人公とした卒・入学式づくりをすすめる、など教育の自由と子ども・教職員の思想・良心の自由を保障するとりくみをすすめます。

## 共生・共学をすすめ、 「インクルーシブ教育」の実現をすすめます！

5

子どもの数が減少傾向にあるにもかかわらず、2006年以降、高等特別支援学校は13校増加し、小中学校においても特別支援学級在籍の子どもが増加しており、分離・別学に拍車がかかっています。分離・別学は、「国連障害者権利条約」や「障害者差別解消法」と逆行し、子どもの権利侵害につながります。「しょうがい」「LGBT」「外国につながる子ども」など様々なマイノリティの人権課題の解決に向けて「インクルーシブ教育」のとりくみをすすめます。

## 教育を語る対話運動

「ゆたかな教育の実現をめざす署名」に  
ご協力をお願いいたします。

## ゆたかな教育をめざす北海道連絡会

連合北海道・北海道平和運動フォーラム・民主教育をすすめる道民連合  
北海道私立学校教職員組合協議会・札幌市立高等学校教職員組合・北海道教職員組合